

VISSEL KOBE ザ・ベストゲーム2010



激動の末に幕を閉じた2010シーズンのJリーグ。スタジアムには、その瞬間しか味わえない数々のドラマがありました。そこで、編集部りすざるの独断と偏見で1年間をプレイバック!全34試合の中から、特に印象に残った3試合を振り返ります。



Game 1 5/8 sat. VSジュビロ磐田 ○3-0

キャプテン大久保、男泣き!

開幕戦以来、4試合ホームゲームで勝利できていない状況で迎えた磐田戦。大久保嘉人選手がキャプテンとしてチームを引っ張り、開始から全体が積極的攻める姿勢を見せる。そんな中、キヨリと攻める存在感を見せたのがボツティ選手。今シーズンは思っような出場機会に恵まれていなかったが、この試合で一気に監督の信頼を勝ち取った。先制することで試合をコントロールし、追加点3点を奪いゲームを支配する。という理想的な展開。ボツティの後思わず涙ぐむ大久保選手の姿が印象的だった。

試合後コメント
「嬉しかったです。普通に嬉しかったです。とにかく勝って、いなかったので、どうしてたら勝てるの?という感じでした。でも今日の試合のように、ゴールが入るときは入るものです。みんな体を張って頑張っていたからだと思います。(大久保嘉人選手)



Game 2 7/25 sun. VS大宮アルディージャ ○3-1

神戸の情熱男、真夏に開花!

W杯によるリーグ中断後初のホームゲーム。なかなか上位浮上のきりがつかないまま、近い順位にいる大宮との戦。立ち上がりから積極的に攻め、早い段階で松岡亮輔選手の今季初ゴールが決まる。さらに、近藤岳登選手の10初ゴールでホムスタは大フィーバー!昨シーズン神戸でブレイした鈴木規矩選手に1点を奪われたものの、最後はW杯でもキレのある動きを見せた大久保嘉人選手のダメ押しゴールで快勝!ムードメーカー2人のゴールでチームも盛り上がり、さらに結束が固まった試合となった。

「本当に今日のゴールは忘れられないゴールになりました。僕の情熱とキッカーの情熱がボールを蹴っています。あの取れるサイドバック、さらにアシストもたくましくしたい。ピン(石橋洋祐選手)も調子がいいので、まずはキックでゴールを自慢に頑張ります。」(近藤岳登選手)



Game 3 8/8 sun. VS浦和レッズ ○1-0

堅守速攻、これが神戸の持ち味!

大久保嘉人選手と共にW杯で大活躍した阿部勇樹選手、現レギュラーシテュFCをはじめ、実力派補の浦和。前半相手の猛攻を防ぐ中で、DF茂木弘人選手がレッドカードで退場してしまふ。1人少ない状況となった後半、ボランチに三原雅也選手を投入、その起用がスバリの中、レブ口初ゴールが生まれる。その後はヴィッセルの持ち味である堅守速攻が活え、虎の子の1点を守りきって勝利。昨季、地域リーグで力をつけた注目選手が、ボランチのレギュラー獲得に向けて大きく前進する一戦となった。

試合後コメント
「プロに入って四年目まで、今まで試合に出るなというも努力してきたので、そこはひとりでメンツアップできたのかなと思います。金沢で昇格争いという厳しい試合を経験できたので、そういう部分は自分の自信にできているのかなと思います。」(三原雅也選手)



2011年もヴィッセル神戸をみんなで応援しましょう!

スタジアムにしかない、感動と興奮を。お待なシーズンシート2011販売開始!
【お問い合わせ】 ヴィッセル神戸インフォメーションセンター TEL.078-685-5519 <http://www.vissel-kobe.co.jp>